



# イホマイド・アドリアシン・ウロミテキサン併用療法

患者名: 患者 ID: 身長: 体重: ( 月 日測定)

主治医: 指導医: 年齢: 体表面積: CREA: ( 月 日採血)

B型肝炎ウイルス:HBs 抗原(+・-)HBs 抗体(+・-) HBc 抗体(+・-) HBV-DNA 定量( ・陰性)

## CHEMOTHERAPY REGIMEN

21日を1サイクルとして繰り返す。

		day1	day2	day3	day4	day5	day6
アドリアシン(ドキシソルビシン)	20mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓			
イホマイド(イホスファミド)	2.0g/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓	
ウロミテキサン(メスナ)	400mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓	↓	
催吐性リスク		高	高	高	中	中	

イホマイドとウロミテキサンがいずれも当院未採用薬品です。  
「未採用薬品購入申請書」を薬剤部長へ提出してください。

## day1

処方)イメンドカプセルセット1セット  
点滴①開始までに内服すること。  
day2、day3 は午前中に内服すること。

①

グラニセトロン3mgバッグ 100ml 1本  
デキサート 6.6mg 1V  
デキサート 1.65mg 2A  
30分かけて点滴  
※イメンド内服すること

メイロン静注 8.4%20ml 1A  
ウロミテキサン 400mg ( )A  
ウロミテキサン 100mg ( )A  
3回側管静注  
イホマイド直前・4時間後・8時間後

②

テルモ生食 500ml 1本  
イホマイド 1g ( )V  
60分かけて点滴

1回量です!  
3回使用します

ウロミテキサン投与量

体表面積	1回投与量
1.25 以下	400mg
1.26~1.5	500mg
1.51~1.75	600mg
1.76~2.0	700mg
2.01~2.25	800mg
2.26 以上	900mg

イホマイド 2.0g/m<sup>2</sup> × 体表面積 =  
( ) g

次ページへつづく



# イホマイド・アドリアシン・ウロミテキサン併用療法

③ 生理食塩液 50ml 1本  
 アドリアシン 50mg ( )A  
 アドリアシン 10mg ( )A  
 500ml/h

アドリアシン  $20\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積} =$   
 ( ) mg

④ ビカネイト 1000ml 1本  
 4時間かけて点滴

⑤ アセトキープ3G 500ml 1本  
 3時間かけて点滴

※当院の入院ワークシートには2日目3日目に内服する予定のイメンドが印刷されません。そのかわりに点滴①にコメントを記載しています。(仕様です。)

## day2

① グラニセトロン3mgバッグ 100ml 1本  
 デキサート 6.6mg 1V  
 デキサート 1.65mg 2A  
 30分かけて点滴  
 ※イメンド内服すること

1回量です！  
 3回使用します

ウロミテキサン投与量

体表面積	1回投与量
1.25 以下	400mg
1.26~1.5	500mg
1.51~1.75	600mg
1.76~2.0	700mg
2.01~2.25	800mg
2.26 以上	900mg

メイロン静注 8.4%20ml 1A  
 ウロミテキサン 400mg ( )A  
 ウロミテキサン 100mg ( )A  
 3回側管静注  
 イホマイド直前・4時間後・8時間後

② テルモ生食 500ml 1本  
 イホマイド 1g ( )V  
 60分かけて点滴

イホマイド  $2.0\text{g}/\text{m}^2 \times \text{体表面積} =$   
 ( ) g

③ 生理食塩液 50ml 1本  
 アドリアシン 50mg ( )A  
 アドリアシン 10mg ( )A  
 500ml/h

アドリアシン  $20\text{mg}/\text{m}^2 \times \text{体表面積} =$   
 ( ) mg

④ ビカネイト 1000ml 1本  
 4時間かけて点滴

⑤ アセトキープ3G 500ml 1本  
 3時間かけて点滴

次ページへつづく



# イホマイド・アドリアシン・ウロミテキサン併用療法

## day3

①

グラニセトロン3mgバッグ 100ml 1本  
 デキサート 6.6mg 1V  
 デキサート 1.65mg 2A  
 30分かけて点滴  
 ※イメンド内服すること

メイロン静注 8.4%20ml 1A  
 ウロミテキサン 400mg ( )A  
 ウロミテキサン 100mg ( )A  
 3回側管静注  
 イホマイド直前・4時間後・8時間後

②

テルモ生食 500ml 1本  
 イホマイド 1g ( )V  
 60分かけて点滴

③

生理食塩液 50ml 1本  
 アドリアシン 50mg ( )A  
 アドリアシン 10mg ( )A  
 500ml/h

④

ピカネイト 1000ml 1本  
 4時間かけて点滴

⑤

アセトキープ3G 500ml 1本  
 3時間かけて点滴

1回量です!  
 3回使用します

ウロミテキサン投与量

体表面積	1回投与量
1.25 以下	400mg
1.26~1.5	500mg
1.51~1.75	600mg
1.76~2.0	700mg
2.01~2.25	800mg
2.26 以上	900mg

イホマイド  $2.0g/m^2 \times$  体表面積 = ( ) g

アドリアシン  $20mg/m^2 \times$  体表面積 = ( ) mg

## day4

処方) イメンドカプセル80mg1カプセル2日分  
 day4 と 5 の午前中に内服すること。

①

グラニセトロン3mgバッグ 100ml 1本  
 デキサート 6.6mg 1V  
 デキサート 1.65mg 2A  
 30分かけて点滴  
 ※イメンド内服すること

次ページへつづく





# イホマイド・アドリアシン・ウロミテキサン併用療法

↓

メイロン 静注 8.4%20ml 1A  
 ウロミテキサン 400mg ( )A  
 ウロミテキサン 100mg ( )A  
 3回側管静注  
 イホマイド直前・4時間後・8時間後

ウロミテキサン投与量

1回量です！  
3回使用します

体表面積	1回投与量
1.25 以下	400mg
1.26～1.5	500mg
1.51～1.75	600mg
1.76～2.0	700mg
2.01～2.25	800mg
2.26 以上	900mg

②

テルモ生食 500ml 1本  
 イホマイド 1g ( )V  
 60分かけて点滴

③

ビカネイト 1000ml 1本  
 4時間かけて点滴

④

アセトキープ3G 500ml 1本  
 3時間かけて点滴

イホマイド  $2.0g/m^2 \times$  体表面積 = ( ) g

## day5

①

大塚生食注 100ml 1本  
 アロキシ 0.75mg 1V  
 デキサート 6.6mg 1V  
 デキサート 1.65mg 2A  
 30分かけて点滴  
 ※イメンドカプセル内服すること

ウロミテキサン投与量

1回量です！  
3回使用します

体表面積	1回投与量
1.25 以下	400mg
1.26～1.5	500mg
1.51～1.75	600mg
1.76～2.0	700mg
2.01～2.25	800mg
2.26 以上	900mg

メイロン 静注 8.4%20ml 1A  
 ウロミテキサン 400mg ( )A  
 ウロミテキサン 100mg ( )A  
 3回側管静注  
 イホマイド直前・4時間後・8時間後

②

テルモ生食 500ml 1本  
 イホマイド 1g ( )V  
 60分かけて点滴

イホマイド  $2.0g/m^2 \times$  体表面積 = ( ) g

③

ビカネイト 1000ml 1本  
 4時間かけて点滴

④

アセトキープ3G 500ml 1本  
 3時間かけて点滴

次ページへつづく



## イホマイド・アドリアシン・ウロミテキサン併用療法

day6

処方)デカドロン錠4mg 2錠 2×朝昼食後3日分  
day6～8 に内服

ジーラスタ皮下注 3.6mg 1筒  
皮下注  
前日のイホマイド終了24時間後～

### REFERENCES:

NCCN Clinical Practice Guidelines inOncology™ Soft Tissue Sarcome. V.2.2018.

Doxorubicin alone versus intensified doxorubicin plus ifosfamide for first-line treatment of advanced or metastatic soft-tissue sarcoma: a randomised controlled phase 3 trial.

[Lancet Oncol.](#) 2014 Apr;15(4):415-23.

備考: